

はじめに （参考：平成15・16年企画立案、平成16年実行）

- コミュニティ運営協議会の組織改定がなされ、今年度から新しい体制の下で事業活動が開始された。
- これに伴い広報部会の位置付けや役割も大きくなるものの
 - ◇コミュニティに対する理解度は、日の里で9%未満
 - ◇コミュニティの現状や組織改定に対しても十分な理解が得られていない。
- 本日の広報部会の全体会議の主眼
 - ◇コミュニティの全体観のなかでの広報部会の役割
 - ◇広報部会の目標や事業計画の「考え方」を共有化
 - ◇部員同士が知恵と力が出し合える共通の土俵づくり
 - ◇当面の「進め方」に関する確認 など

1. 運営協議会の組織改定の必要性

- 社会・経済面の構造的変化により、地域社会をとりまく環境が大きく変化し、地域社会の将来の姿が描けない。
 - ◇地域社会の「住み易さ」を維持するためには、町内会・協議会・市が連携して組織的に取り組むことが必要。
 - ◇まちづくりは、国と地方行政の「政策転換」に伴い、住民主体、地域主導で取り組むことが必要。
- まちづくりは、限られた地域資源を有効活用して、計画的、継続的な活動が必要。
- まちづくりは、多くの住民が無理なく長続きできる体制と仕組が必要。
- 住民の価値観やライフスタイルが多様化するなかで、地域の情報交流や人的交流が必要。

2. 地区コミュニティとは？（参考）

コミュニティとは人々が共同体意識をもって共同生活を営む一定の地域、集団、共同体、地域社会

地区コミュニティ概念図

12町内会（隣組）

行政区

コミュニティ
運営協議会

各種団体

老人クラブ

子ども会

保育園
幼稚園

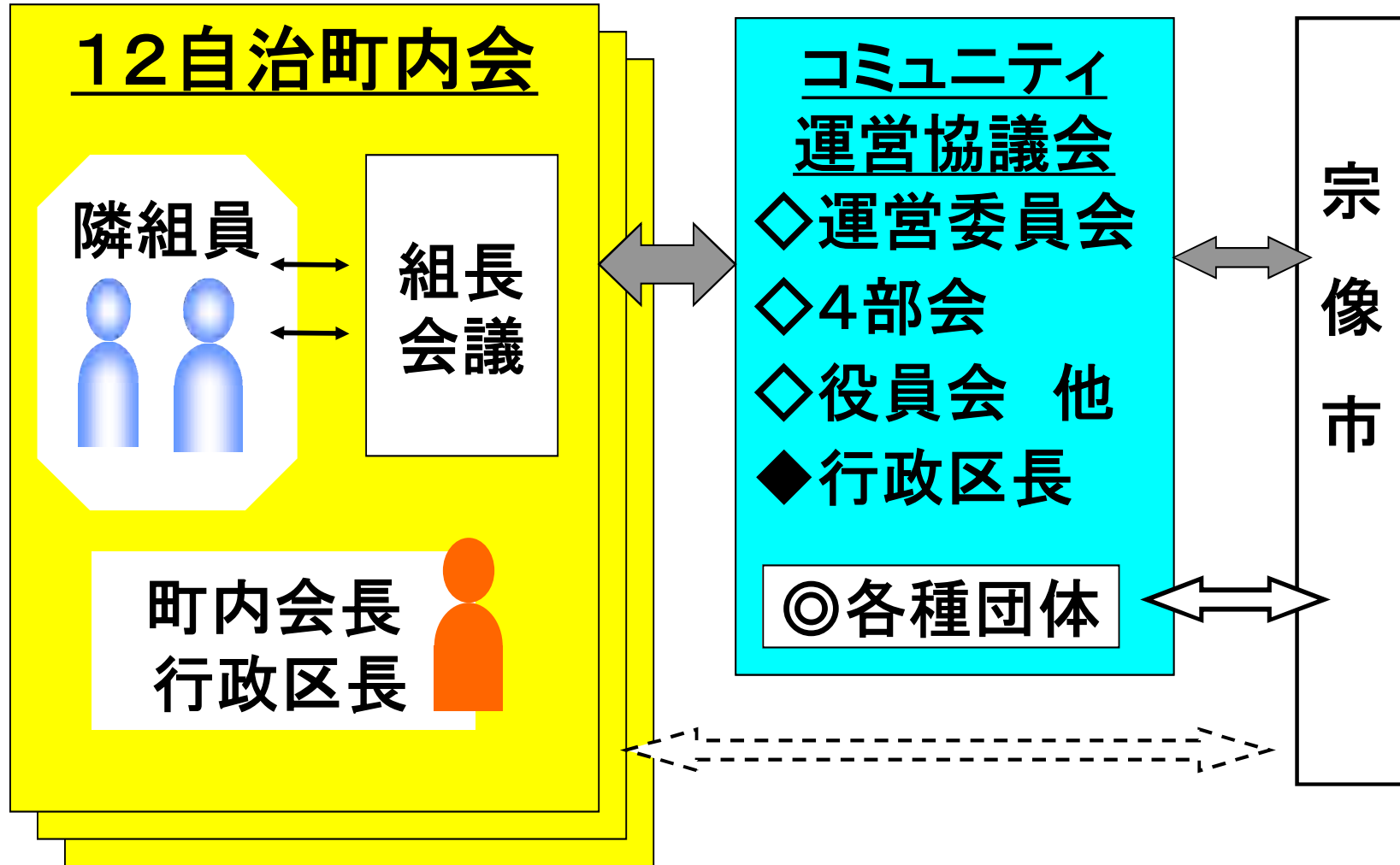
商工会

文化サークル
スポーツクラブ

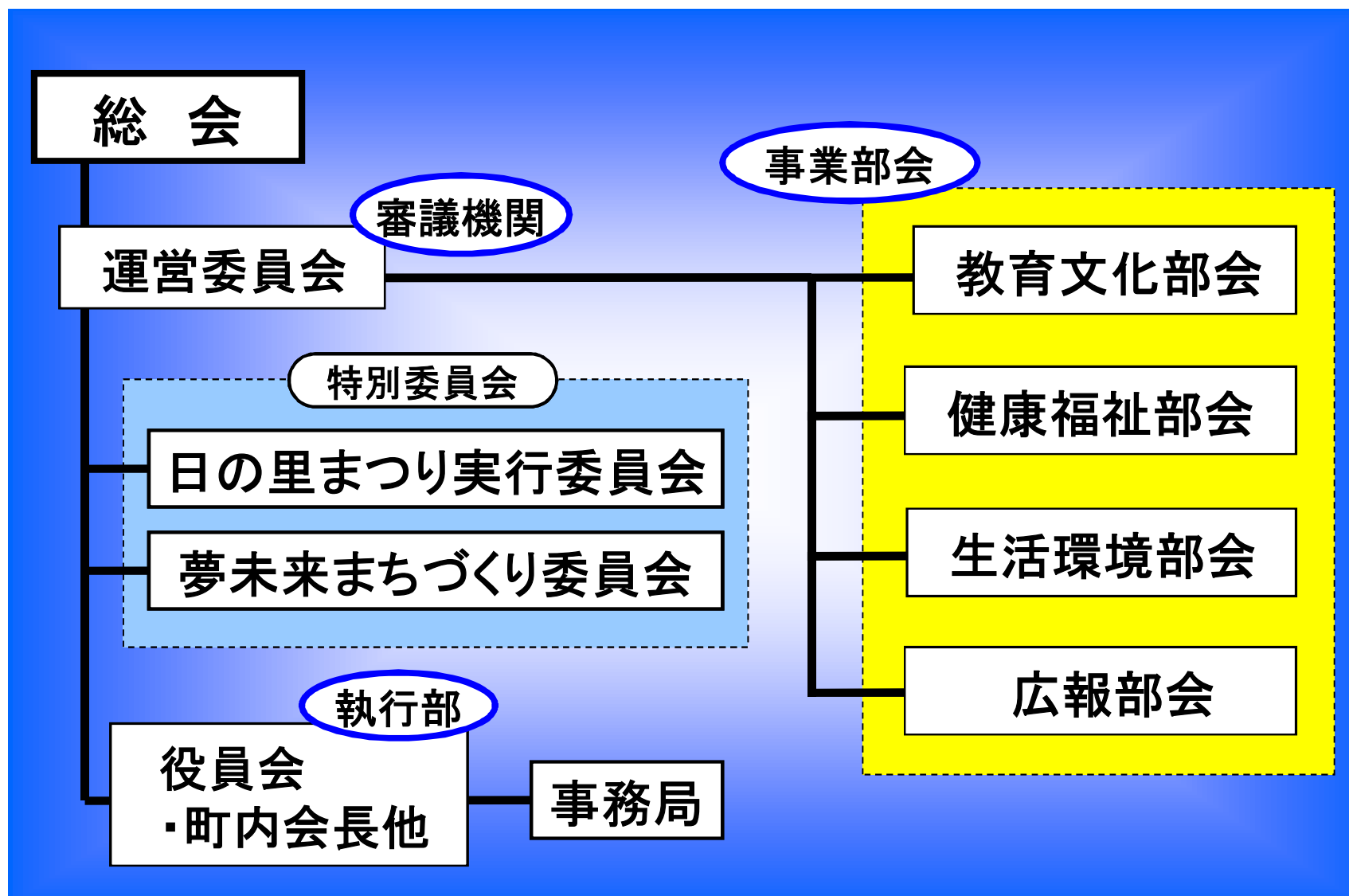
小中学校
PTA

消防団

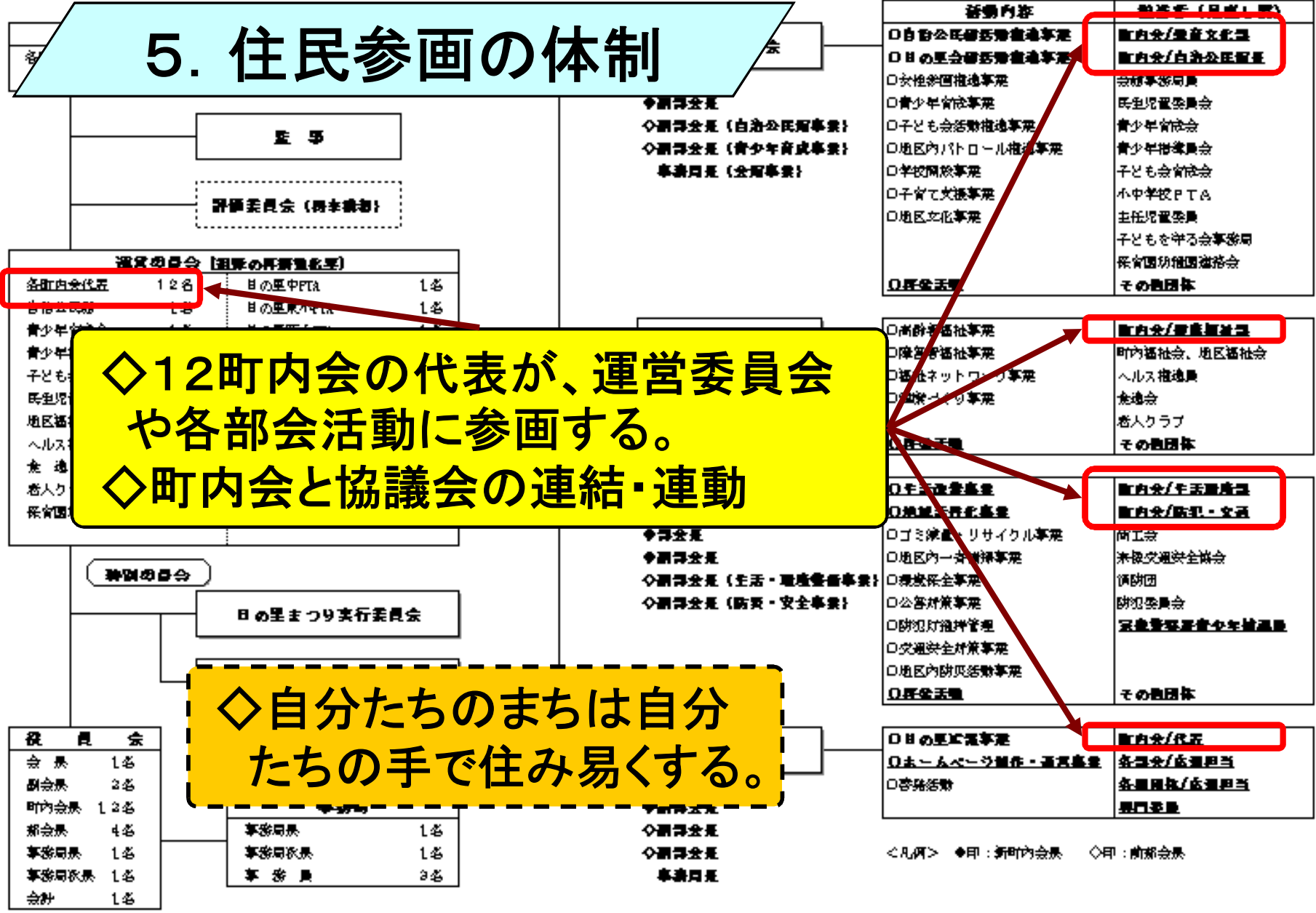
3. 自治町内会と協議会の役割



4. 協議会の組織図



5. 住民参画の体制



議 決 機 関

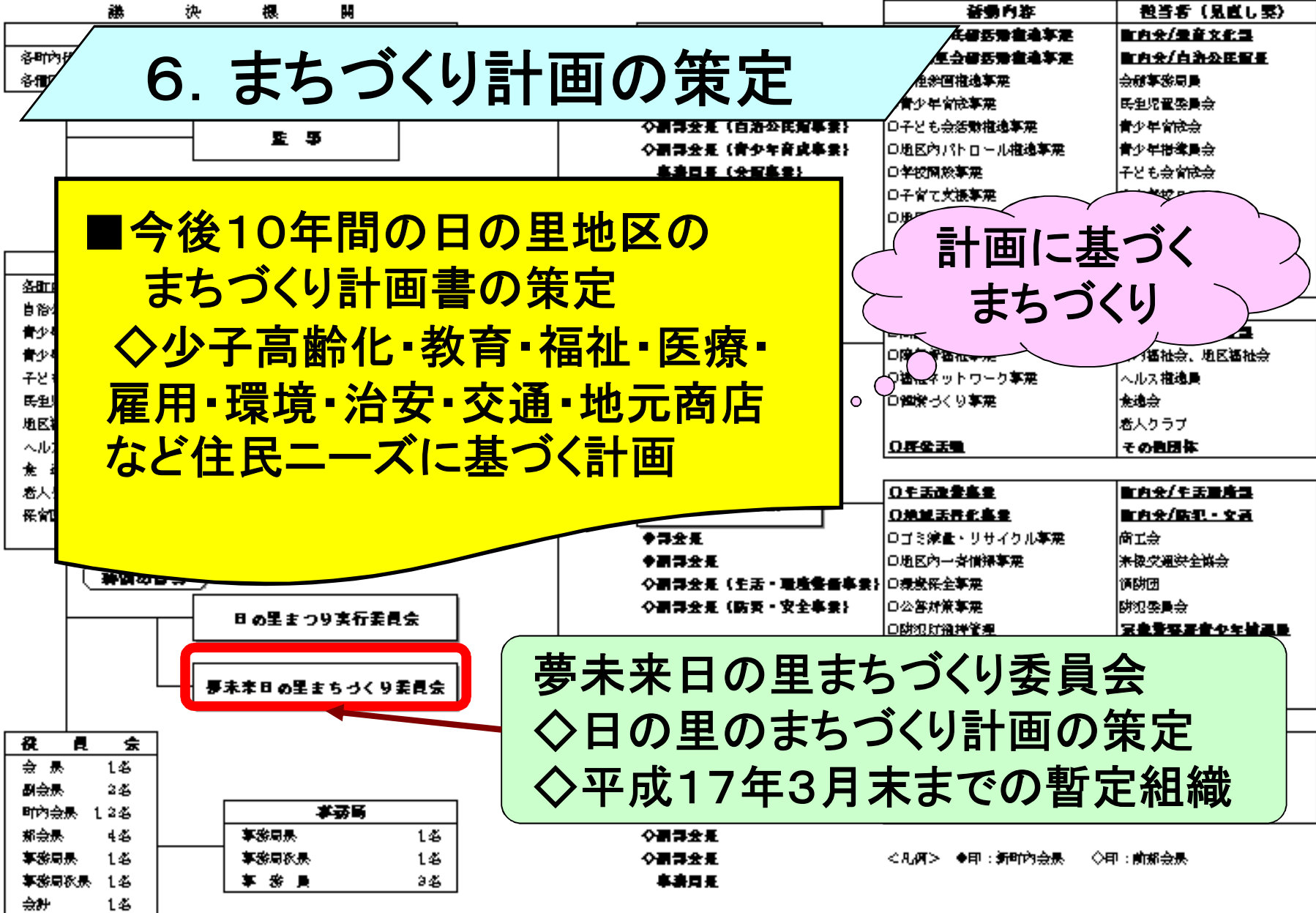
6. まちづくり計画の策定

■ 今後10年間の日の里地区の
まちづくり計画書の策定

◇ 少子高齢化・教育・福祉・医療・
雇用・環境・治安・交通・地元商店
など住民ニーズに基づく計画

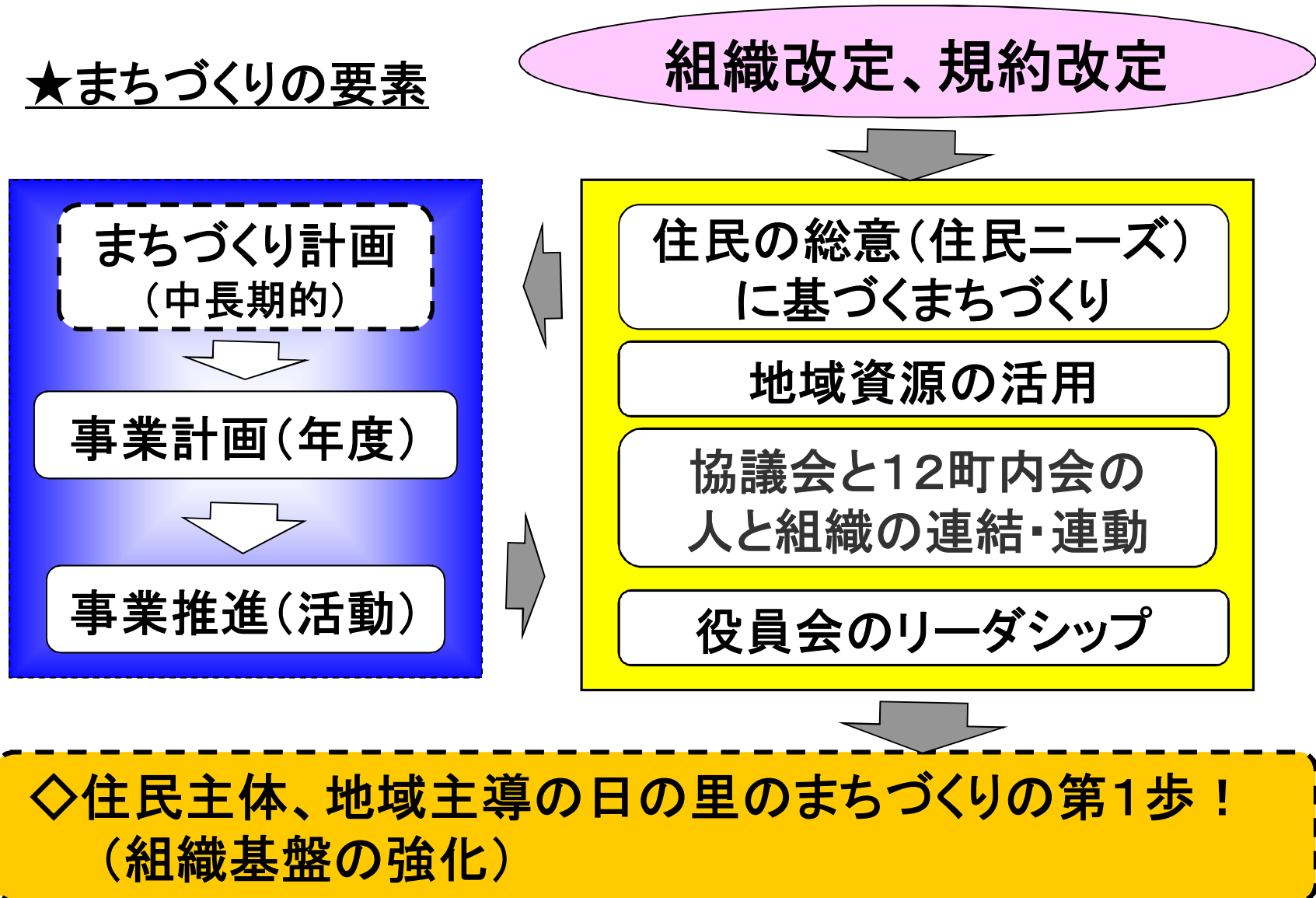
計画に基づく
まちづくり

夢未来日の里まちづくり委員会
◇ 日の里のまちづくり計画の策定
◇ 平成17年3月末までの暫定組織

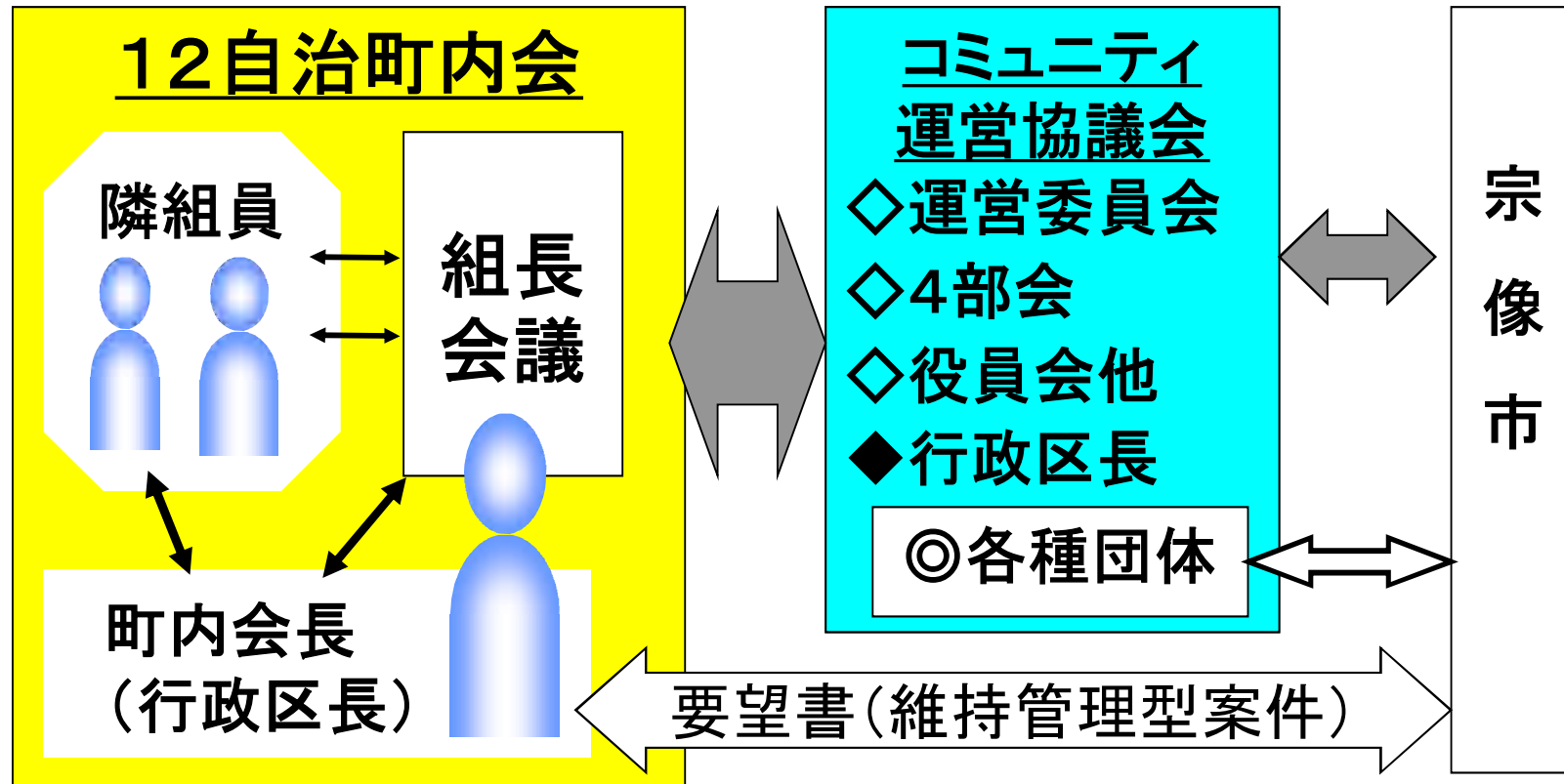


7. 組織改定の狙い

★まちづくりの要素



8. 組織改定の期待効果（協議会が変わる）

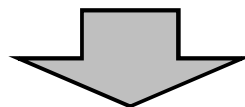


◇各町内会と協議会の風通が良くなり、協議会の活動が地域住民にとってより身近なものになり得る。

9. 組織改定の期待効果(組長会議が変わる)

現状の組長会議

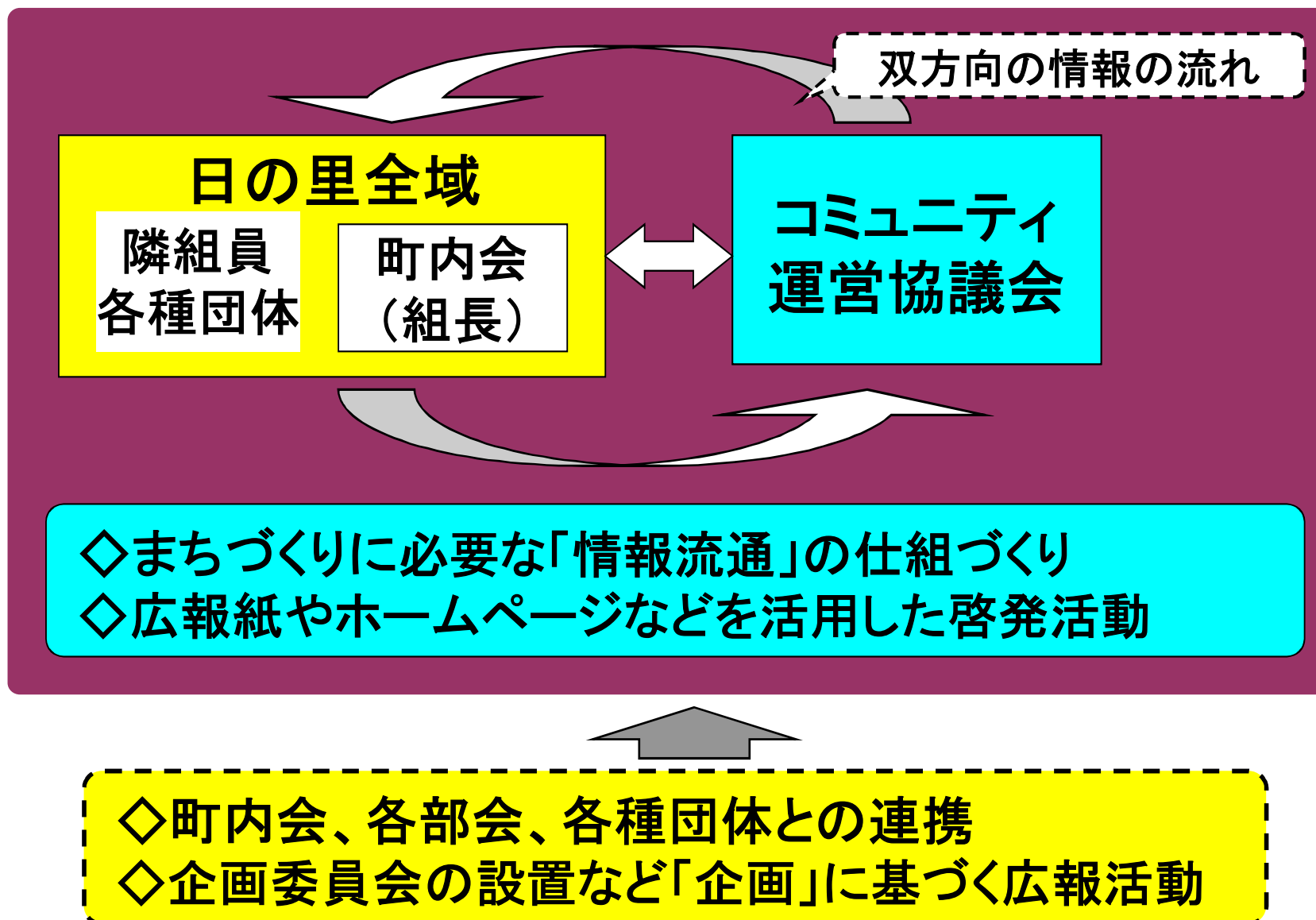
- ◇町内会長が行政や協議会の連絡事項を伝達する場
- ◇従来からの定例、定型的な事業の進め方を検討する場



今後の組長会議

- ◇同上に加えて、住民ニーズ(地域住民の要望事項)を把握し、協議会や行政へ反映させるために「議論し決定」する場
- ◇併せて、組長会議は住民ニーズが協議会や行政で如何に取組まれているかを町内に伝えるための場
- ◇組長会議の運営に町内会役員が直接関わる。

10. 広報部会の役割



11. 日の里広報に対する現状、意見

- 一般の広報紙に比べ文字情報が多く見難い
- 広報紙に必要な「広報企画」が出来ていない
 - ◇ 広報企画のための組織が存在しない
 - ◇ 「広報部会」と各部会との連携が薄い
 - ◇ 全戸配布情報と回覧情報が混在している
- 広報紙を毎月発行するための負担が大きい
 - ◇ 編集委員の後継者がいない
 - ◇ 毎月の「広報委員会」への出席者が少ない
- 手書き割付のため印刷会社への依存度が高い

12. 広報部会の事業目標

コミュニティ運営協議会の目的

- ◇住民の総意に基づき連携協調して明るく健全な地域社会を築く



☆広報部会の事業目標

■住民ニーズに基づく事業企画の推進

- ◇読み手の視点による見易く判り易い「広報」

■運営協議会の新体制への円滑な移行

- ◇各部会、町内会、各種団体との連携
- ◇広報活動の継続性の確保

■広報部会の人材の確保

13. 広報部会の事業計画の概要

■既存の日の里広報紙の発行

- ◇H15年度とほぼ同等の日の里広報を発行
- ◇各部会との連携により広報企画を順次強化

■新しい日の里広報紙の企画推進⇒新規事業

- ◇住民ニーズを基に新しい広報紙の企画検討
- ◇H16年度中に試作版を発行

■日の里ホームページ(HP)の制作⇒新規事業

- ◇市との協働による日の里のHPを制作
- ◇市のHPのモデル事業予算を活用

14. 新規事業「広報紙の刷新」(例)

- 町内会、各部会、各種団体との連携による「広報企画」に基づく紙面づくり
- 全戸配布情報と回覧情報のすみ分け
 - ◇定例行事案内や結果報告の回覧方式化
- 読み手の視点による見やすい紙面づくり
 - ◇紙面の4ページ化による写真やイラストの取込み(隔月発行?)
 - ◇IT(情報技術)の活用
- 日の里ホームページの情報(記事)との共用

15. 新規事業「日の里HPの制作」(例)

■日の里ホームページ(HP)の制作の目的

◇市の地区コミュニティのHPのモデル事業

◇地域の情報交流、人的交流の促進

◇地域の情報リテラシーの向上

■生活者の視点によるHPの制作

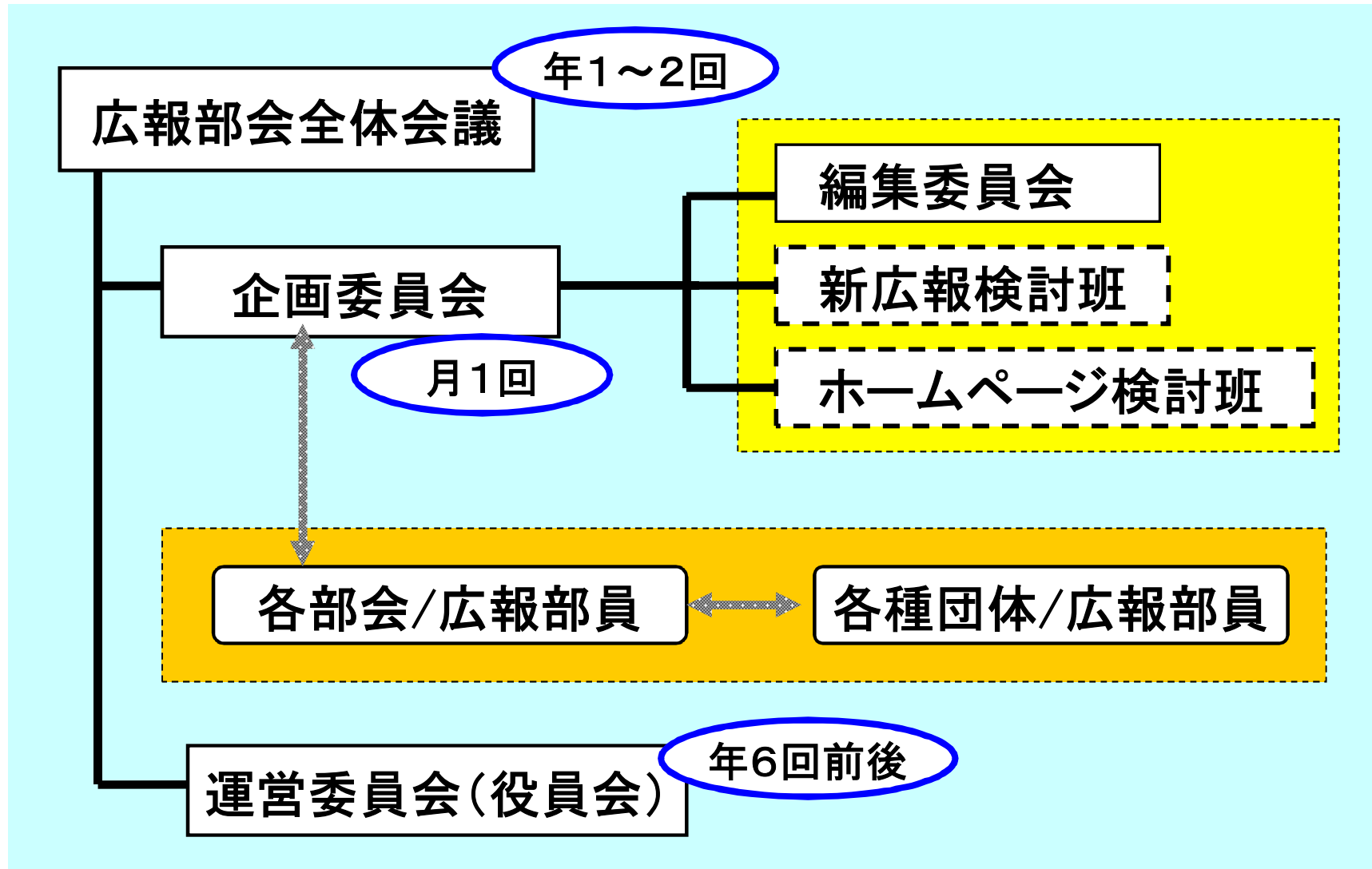
◇「楽しい・面白い・役に立つ・ためになる」を追求

◇操作性、保守性、拡張性の確保

■3～5年後を俯瞰した、お茶の間のデジタルテレビによる閲覧(コンテンツ・操作性など)

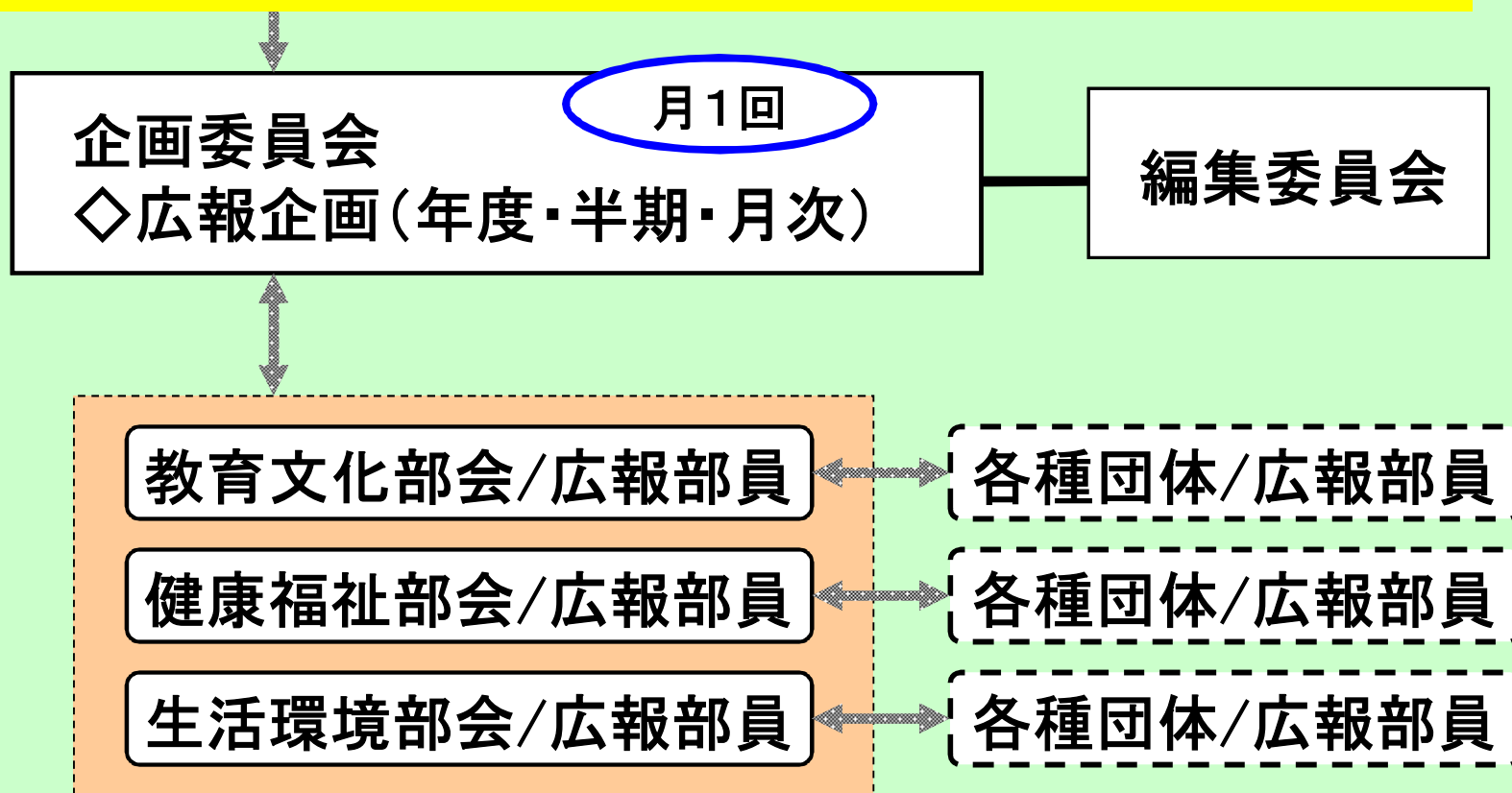
■将来像をもとにステップ展開による開発方式

16. 広報部会の組織図(定例会議)



17. 広報企画

各部会、役員会、町内会の事業や活動計画を基に、
年度の月単位の「広報企画」を実施（記載事項など）



18. 広報企画の範囲(イメージ)

	計画 作成 時期	当年度		次年度	
		7月 ~12月	1月 ~6月	7月 ~6月	1月 ~6月
年次	6月	年次計画			
半期+半期	12月		見直し年度計画		
半期+半期	6月			見直し年度計画	
広報の発行	毎月	□ ~ □	□ ~ □		

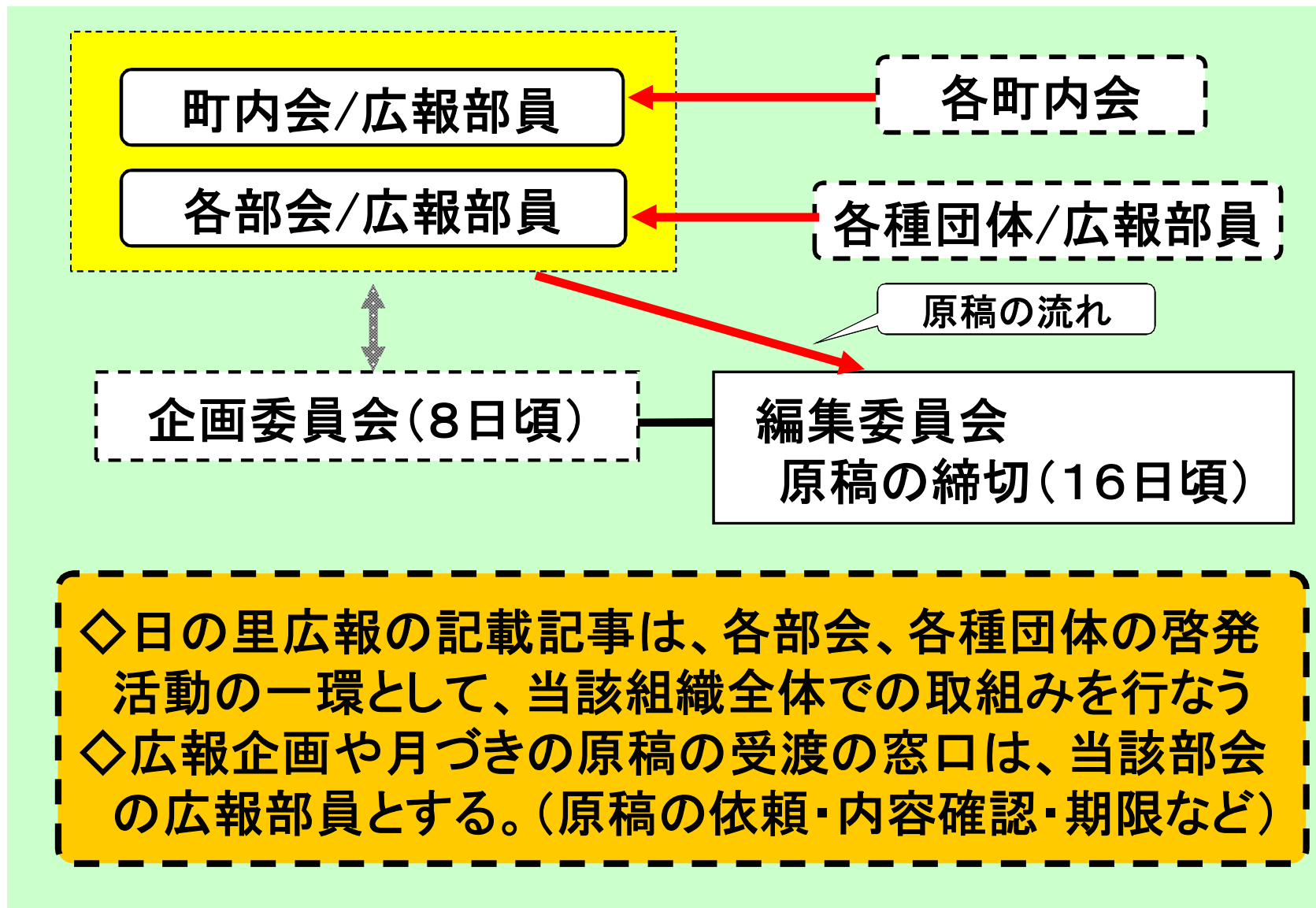
■ 広報企画の単位

- ①日の里会館 ②役員会、運営委員会、まちづくり委員会
 ③日の里まつり実行委員会 ④各部会(部会+各種団体)
 ④町内会 ⑤広報全体 など

19. 広報企画の概要(イメージ)

	H16年		H17年	
	7月	8月	~	6月
教育文化部会	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; text-align: center;"> 地域・学校との連携 (6ヶ月) </div>			
◇青少年育成部会				
◇小中学PTA				
生活環境部会	<div style="border: 1px solid black; background-color: yellow; padding: 10px; text-align: center;"> 住民防犯パトロール (6ヶ月) </div>			
◇防犯委員会				

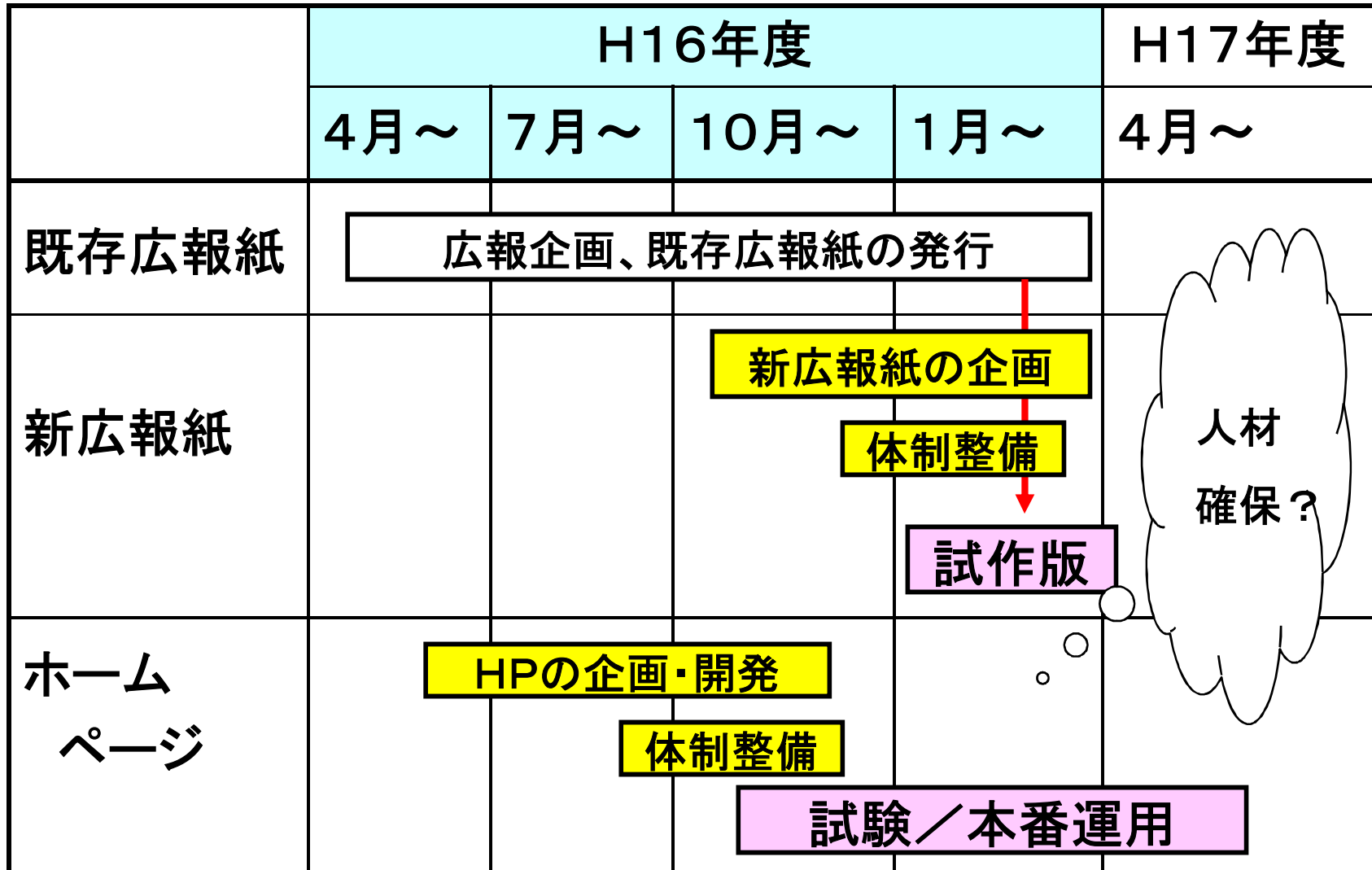
20. 原稿の制作と受渡の考え方



21. 定例会議のメンバー構成

定例会議	部会全体会議	運営会議	企画委員会	編集委員会	広報検討班	HP検討班
1. 正副部会長・局長(5名)	5	5	5	5		
2. 町内会(12名)	12	0	3	0		
3. 各種団体(17名)	17	1	1	1		
4. 教育文化部会(2名)	2	0	2	0		
5. 健康福祉部会(2名)	2	0	2	0		
6. 生活環境部会(2名)	2	0	2	0		
7. 専門委員(若干名)	N	0	N	0		

22. 新規事業のスケジュール(イメージ)



23. 推進上の課題

- 広報紙やホームページを定期的に制作・発行するための運用体制の整備と人材の確保
 - ◇ 広報企画の推進とその実施
 - ◇ 広報紙の制作と発行
 - ◇ ホームページのコンテンツ制作と保守運用
- 広報部会、各部会、各種団体、町内会、役員会及びコミュニティ課との連携協調

(6) 今年度予算

■平成16年度会計予算⇒資料4ページ

- ① 予算前提の確認
- ② 今年度より広報委員会の単独会計は、コミュニティの「共通会計方式」に変更
- ③ 昨年度までの繰越金は「共通会計」へ繰入

(7) 広報部会の委員構成

■ 運営会議メンバー ⇒ 資料2ページ

■ 企画委員

◇ 町内会代表の選出

■ 編集委員

■ 新広報紙検討班 ⇒ 企画委員会にて検討

■ ホームページ検討班 ⇒ 企画委員会にて検討

H16年度5月度 企画委員会

■目的

日の里広報6月号の原稿の予定の確認

■会議の対象者

企画委員及び、各種団体の方

■6月号の原稿の予定

各種団体分の確認、各部会の確認

■原稿締切

5月16日(日)中

■来月の企画委員会

6月8日(火)19時30分

広報委員会の旧組織図(参考)

